



ぶどうぐみだより

令和6年4月 26 日

社会福祉法人まほろば湊こども園

暖かな春の陽気と共に、新年度がスタートしました。また一つお兄さんお姉さんになって、ちょっと得意げな顔をしているかわいい子どもたちの表情を見ていると、これからの一年がとても楽しみです。Y君が「桜の花はみんなを楽しませてあげるために咲いてるんやな」と言っていて、子どもたちの純粋な言葉や思いにハッと気付かされたり、心がほっこり温かくなります。この一年も、子どもたちの言葉に耳を傾け、一緒に共感し、思いを汲みつつ関わりを深めていきたいと思います。



一番大きなクラスのお兄さんお姉さんになったぶどうぐみさん。今年度は園生活最後の一年となります。自分で考えて取り組んだ経験は、誰かに言われてする経験よりも、大きな達成感と自信に繋がります。子どもたちの成長するチャンスを逃すことなく、チャレンジを全力で応援していきたいと思います。また、相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちも伝えられるように、ケンカやトラブルも沢山経験しながら、コミュニケーション力を深めていきたいと思います。その中でも、あいさつや返事、お礼の言葉など、温かな言葉のやりとりを大切にしたいと思っています。ばななぐみから少しずつ話を聞くことも身についてきています。ぶどうぐみではただ聞くだけでなく「話を理解して自分の生活に活かせるように」を目指していけたらと思っています。このことを踏まえつつ5歳児らしい充実した生活を過ごしていけたらと願っています。またばななぐみでも大切にしてきた「自分を大切にすることで、周りのお友だちも大切にできる！」を日々の生活の中で、子どもたちに伝え、体験し、感じられる1年にしたいと思います。今年度も一年間どうぞよろしくお願い致します。